

胃透視検査（バリウム検査）を受けられる方へ

胃透視検査は、胃の中に食べ物があると精度の高い検査ができません。
そのため、検査前の食事や嗜好品などの制限が必要です。

検査の前日

- ❖ 夕食は固いものを避け、消化の良いものを夜9時までに済ませてください。
それ以降は何も食べないでください。
- ❖ 水分は普段通り摂ってください。
- ❖ 薬は就寝までに、処方通りに服用してください。

検査の当日

- ❖ 朝食は、絶対にとらないでください。（とられた場合検査ができません）
- ❖ コップ1杯の水や白湯は、お飲みになって結構です。
- ❖ コーヒーやタバコもご遠慮ください。（胃液が多くなり、検査精度が低下します）
- ❖ 糖尿病の薬の服用またはインスリン注射はしないでください。
- ❖ その他の定期薬は来院時間2時間前までに少量の水で服用してください。



実施の注意

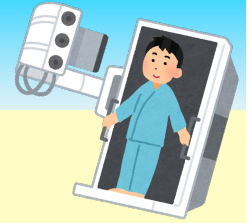
【下記該当者は検査を実施できませんので、必ず事前にご連絡ください】

- ❖ 妊娠中および妊娠していると思われる方。授乳中の方。
- ❖ 過去にバリウム製剤に対し、過敏症（じんましん等）の既往歴のある方。
- ❖ 過去に腸閉塞（イレウス）になったことのある方。
- ❖ 過去1年以内に腹部、頭部、胸部等に大きな手術を行った方。
- ❖ 過去1年以内に心筋梗塞や脳卒中を発症した方。
- ❖ 検査台の安全上の理由により、体重120kgを超える方。
- ❖ 腎臓病などで水分制限をされている方。
- ❖ 自力で立って動いたり、手すりをしっかりつかむことができない方。
- ❖ 当日までに3日間排便のない方。（ひどい便秘の方）
- ❖ 高血圧で180/110mmHg以上の方。
- ❖ 当日体調の悪い方。 当日食事をしてきた方。



※かかりつけ医等で定期的に内視鏡検査を受けられている方は必ず事前にご連絡ください。
その他、気になる点や不明な点はお気軽にスタッフにご相談ください。

胃透視検査の流れ



検査前

- 当院検査着に着替えて、貼付剤、磁気治療器、時計、ネックレス、義歯、メガネ等は外してください。
撮影の妨げになったり、破損、紛失の恐れがあります。

検査中

- 胃を膨らませるために発泡剤を飲んでいただきます。
検査の間、げっぷはできるだけ我慢してください。
げっぷをすると胃がしぼんでしまい、病変の有無が分からなくなってしまいます！
- 検査台が動くので、手すりをしっかり握っておいてください。
落ち着いて、放射線技師の指示に従ってください。



検査後

- 検査後は、バリウムの影響で便秘になりやすいため、下剤をお渡しします。
普段から便秘気味の方は多めにお渡ししますので、お申し出ください。
- 検査から2日経っても便が出ない場合は、医療機関へ受診をお願いします。
- 検査後は水分を多くとりましょう。食事はいつも通りとって大丈夫です。

検査の流れ ~検査ってこんな感じ~

1. 発泡剤を飲みます。



小瓶の中の白い粉をすべて少量のバリウムで飲みます。だんだん胃が膨らんでいき、ゲップが出やすくなります。



検査終了までゲップは我慢しましょう。

2. バリウムを飲みます。

こぼさないように気をつけて全量お飲みください。



3. 撮影台に立ちます。

両側の手すり棒をつかみ、左斜め前を向いて立ってください。台が倒れていきます。

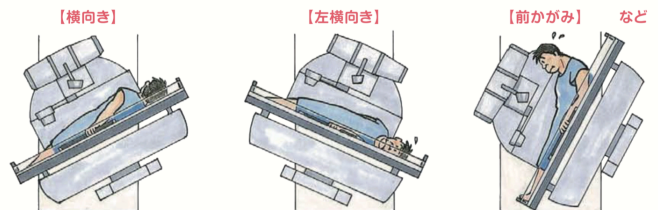


4. 右回りに3回、回転してください。



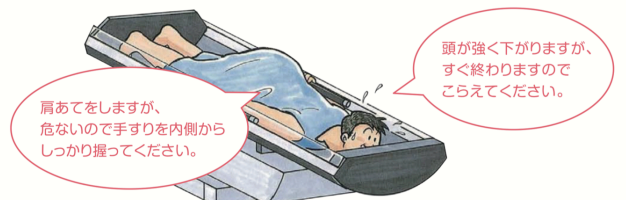
5. いよいよ撮影開始です。

いろいろな体の向きで撮影します。



★手すりをしっかり握りましょう★

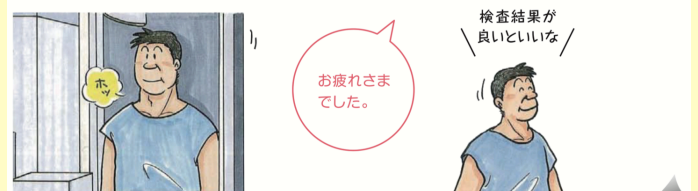
6. 中ほどに、うつ伏せで頭を下げる姿勢があります。



肩あてをしますが、危ないので手すりを内側からしっかり握ってください。

頭が強く下がりますが、すぐ終わりますのでこらえてください。

7. 台が立って止まったら検査終了です。



ホッ

お疲れさまでした。

検査結果が良いといいな